

神宮
明治祭式

卷之二

皇大神宮祭典

祈年祭大御饌奉幣

紀元節大御饌

神御衣奉織始祭四月

神御衣奉織鎮謝祭四月

風日祈祭四月

神御衣祭四月

東京圖書館

東京圖書館				
一	二	三	四	五
冊	号	架	函	類

一
九

二

東京圖書印



神宮明治祭式卷之二 皇大神宮之部

二月四日

皇大神宮并諸別宮諸神祈年祭大御饌 大祭

元始祭大御饌ニ同シ 奏樂ハ樂員之ヲ勤仕

午前十一時第三鼓正午十二時但別宮以

三鼓午後一時又振社末社四十七所ハ奉幣

權主典等各社ニ奉向奉奠ス因テ社名祭

奉幣ノ條ニ掲載ス

十一日

皇大神宮并諸別宮諸神紀元節大御饌大祭

次第元始祭大御饌同シ奏樂ハ樂員之ヲ勤仕

二鼓午前六時第三鼓午前七時但別宮以下次第

三鼓午前八時

十七日

皇大神宮祈年祭奉幣 大祭

第一鼓 午前十一時

祭主以下參集 權祢宜以上本
綿鬘ヲ著ク

使屬掌典神部參著

第二鼓 正午十二時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス 八重賢木鳥居及重々御門御
垣等ニ兼日賢木ヲ奉仕ス

第三鼓 午後一時 ○ 儀仗兵第一鳥居内ニ整列官幣辛櫃出門ノ
際捧銳喇ハヲ奏ス次テ前後ヲ護シ進行ス

官幣辛櫃ヲ第二鳥居内正中ニ昇立ツ掌典神部

相副テ進列ス 東上
北面

次使屬同鳥居外ニ進列ス東上北面權主典一員副従ス

次祭主以下同鳥居外ニ進列ス東上北面儀仗兵同鳥居内外ニ整列ス

次使祭主大少宮司ト對揖ス

次主典一員進テ大麻ヲ揮リ官幣以下ヲ清ム先

幣次使次屬次。此際儀仗

次權主典一員進テ御鹽ヲ灑ク次第大麻ノ如シ

先是主典第一鳥居内袂所ニ於テ修袂ノ後

權主典相共ニ大麻御鹽ヲ取り豫第二鳥居

内ニ候ス西上南面

次官幣辛櫃ヲ四丈殿南ノ戸ヨニ昇居ル葉薦ヲ

掌典神部相副テ進列ス西北上

先是宮掌同殿ニ高案二脚ヲ設ク各葉薦

次使屬同殿南ノ戸ヨニ進列ス掌典ノ

次祭主以下同殿西ノ戸ヨニ進列ス祭主以下北

以下西。此際儀仗兵板垣御門外石

次神部辛櫃ヲ開ク掌典進テ官幣及送文ヲ取出

シ案上ニ置ク東ハ皇大神宮御料畢テ列ニ復

ス直丁辛櫃ヲ殿外南方ニ

次主典一員進テ送文ヲ取り祭主大少宮司ニ進

ム各披見畢テ主典ニ授ク

次主典二員幣案ノ南北ニ進ミ送文ヲ讀ミ官幣
ヲ檢シ畢テ列ニ復ス

次正權主典各一員荒祭宮官幣ノ高案ヲ捧ケ殿
中南方ニ移シ列ニ復ス宮掌葉薦

次掌典幣案ノ側ニ進ム
次權主典重々御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク

次主典二員幣案ヲ捧ケ北ノ戸ヲ出ル此際重々
御門ヲ經テ祭舎ニ安ス葉薦ヲ撒ス掌典副テ進參

幣案ノ東方ニ候シ主典ハ東西ニ方候ス
次使以下北ノ戸内玉垣御門外東掖幄舎ノ版ニ

著ク北面上

次祭主以下北ノ戸内同西掖幄舎ノ版ニ著ク北面上

次伶人内玉垣御門下東掖ノ版ニ著ク北面上

次權主典御鑰ヲ大宮司ニ進ム豫御鑰ヲ西掖ニ

安ス葉薦

次大少宮司階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ

畢テ版ニ復ス御鑰ハ大

此間奏樂諸員起立此際儀仗兵捧

次祭主階ヲ昇リ殿内ニ祀候畢テ版ニ復ス

次權禰宜二員階ノ第一級ニ候ス主典葉薦幣案

ヲ傳フ權祢宜大床ニ設畢テ階下ニ分候ス

次禰宜一員階ヲ昇リ案前ニ候ス

次主典官幣ヲ捧ケ權禰宜ニ傳フ權禰宜階ヲ昇

リ禰宜ニ傳フ禰宜之ヲ案上ニ奠ス此際官掌

薦ヲ撒ス但豫參
ハ東西ニ分候ス

次掌典祭舍ヲ退テ幄舍ノ版ニ著ク屬ノ次

次正權禰宜階ヲ降テ版ニ復シ主典ハ階下ニ候ス

次屬祭文ヲ使ニ附ス

次使進テ祭舍ノ版ニ著ク

次祭主大少宮司正權禰宜進テ祭舍ニ列ス西方北
上東面

次使祭文ヲ奏ス

此間諸員起立。此際儀仗奏ス

次少宮司使ノ前ニ進ニ祭文ヲ請テ列ニ復ス

次使版ヲ退キ傍ニ候ス西面

次大宮司祭主ノ前ニ到リ祝詞文ヲ請ケ版ニ進

ニ奏シ畢テ列ニ復ス

次祭主階ヲ昇リ殿内ニ候ス

次大少宮司階ヲ昇リ殿内ニ祭文ヲ納ム

次禰宜階ヲ昇リ官幣ヲ捧ケ殿内ニ入テ少宮司

ニ進ム大宮司之ヲ納ム

次大少宮司御幌ヲ整理ス

次權禰宜案薦ヲ撤ス主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次祭主殿ヲ降テ使ニ及命ス

次使祭主版ニ復ス

次禰宜殿ヲ降テ版ニ復ス主典以下從テ版ニ著ク

次大少宮司殿内ヲ出テ御扉ヲ闔ツ

此間奏樂諸員起立。此際儀仗兵捧銃喇ハヲ奏ス

次大少宮司版ニ復シ大宮司御鑰ヲ權主典ニ授

ク

次使以下一拝幄舎ヲ退テ中重ノ版ニ著ク西面上

次祭主以下一拝同所ノ版ニ著ク祭主以下東上北面上

北面上東面

次宮掌内玉垣御門下ニ高案ニ脚ヲ設ク一脚ハ

ノ料一、脚ハ判仕ノ料各葉薦ヲ敷ク

先是宮掌太玉串ヲ高案ニ具シ葉薦ヲ八重

賢木鳥居内ニ候ス西方東面

次使以下次第ニ進テ太玉串ヲ受ケ御門下ノ案

上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次祭主大少宮司正權禰宜太玉串ヲ奠ス前儀ノ如

シ

次祭主以下奉拜八度拍手兩端。儀仗兵拜禮刺ハヲ奏ス

次權主典重々御門ヲ闔ツ

次使以下退下。儀仗兵解隊

同日

荒祭宮祈年祭奉幣

正宮御料ノ官幣四文殿ニ於テ點檢畢ノ後正權主典各一員宮掌二員外玉垣西御門ヲ經テ官幣ノ辛櫃ヲ護送ス

次官幣辛櫃ヲ御門外東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次宮掌御門下ニ高案ヲ設ク葉薦ヲ敷ク

次宮掌辛櫃ヲ開ク權主典官幣ヲ取出シテ案上ニ置ク

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御垣等ニ懸日寶木ヲ奉仕ス

次各御前ニ候ス

正宮祭儀畢テ使以下進參

次祭主大少宮司正權禰宜各一員進參

次各祭舍ノ版ニ著ク使以下西上北面祭主以下東上北面主典以下北上東

次權主典幣案ヲ階下東掖ニ移ス葉薦ヲ敷ク

次權主典御鑰ヲ禰宜ニ傳フ

豫御鑰櫃ヲ御門外西掖ニ安ス兼薦ヲ敷ク

次正權禰宜階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ

畢テ版ニ復ス

御鑰ハ大床ニ安ス

此間各起立

次主典階ヲ昇リ大床ニ候ス權主典葉薦幣案ヲ

傳フ主典之ヲ設畢テ階下ニ候ス

次權禰宜階ヲ昇リ案前ニ候ス

次主典官幣ヲ捧ケ權禰宜ニ傳フ權禰宜之ヲ案

上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

此際宮掌階下ノ案薦ヲ撤ス

次少宮司階下ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次禰宜階ヲ昇リ殿内ニ候ス

次權禰宜階ヲ昇リ官幣ヲ捧ケ殿内ニ入テ禰宜

ニ傳フ禰宜之ヲ納ム

次正權禰宜御幌ヲ整理ス

次主典案薦ヲ撤ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次正權禰宜殿内ヲ出テ御扉ヲ闔ツ

此間各起立

次禰宜階ヲ降り使ニ及命シ畢テ版ニ復ス

次權禰宜版ニ復シ御鑰ヲ權主典ニ授ク

次宮掌御門下ニ高案ニ脚ヲ設ク一脚ハ勅奏仕ノ料一脚ハ判

仕ノ料各業薦ヲ敷ク

次宮掌太玉串ヲ高案ニ具シ業薦ヲ敷ク側ニ候ス西方

次使以下祭主大少官司正權禰宜次第ニ進テ太

玉串ヲ受ケ案上ニ奠ス其儀正宮ノ如シ

次各奉拜八度拍手兩端

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

十八日

月讀宮祈年祭奉幣

第一鼓 午前十一時

禰宜正權主典宮掌參集禰宜木綿鬘ヲ著ク

第二鼓 正午十二時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午後一時

官幣辛櫃ヲ護衛シテ月讀宮ニ參著ス

次官幣辛櫃ヲ參道ノ正中ニ昇立ツ

次禰宜主典各一員同所ノ西方ニ進列北面上

次權主典一員進テ大麻ヲ揮リ官幣ヲ清ム

次宮掌一員進テ御鹽ヲ灑ク

先是權主典被所ニ於テ修被ノ後宮掌相共
ニ大麻御鹽ヲ取り豫參道ノ西方ニ候ス上南

東面

次官幣辛櫃ヲ御門外東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各祭舍ノ版ニ著ク祢宜北面正權主典宮掌北上東面

次宮掌御門下ニ高案ヲ設ク葉薦ヲ敷ク

次宮掌辛櫃ヲ開ク權主典官幣ヲ取出シテ案上

ニ置ク

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御垣等ニ兼日賢ホヲ奉仕ス

次宮掌幣案ヲ階下東掖ニ移ス葉薦ヲ敷ク

次權主典御鑰ヲ禰宜ニ傳フ豫御鑰櫃ヲ御門外西掖ニ安ス葉薦ヲ敷ク

次禰宜階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ畢テ

版ニ復ス御鑰ハ大床ニ安ス

此間各起立

次權主典階ヲ昇リ大床ニ候ス宮掌葉薦幣案ヲ

傳フ權主典之ヲ設畢テ階下ニ候ス

次主典階ヲ昇リ案前ニ候ス

次權主典官幣ヲ捧ケ主典ニ傳フ主典之ヲ案上

ニ奠シ畢テ版ニ復ス

此際宮掌階下ノ案薦ヲ撤ス

次禰宜階下ニ進ニ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次禰宜階ヲ昇リ官幣ヲ殿内ニ納ム

次禰宜御幌ヲ整理ス

次權主典案薦ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次禰宜殿内ヲ出テ御扉ヲ闔ツ

此間各起立

次禰宜版ニ復シ御鑰ヲ權主典ニ授ク

次宮掌高案ヲ御門下ニ設ケ葉薦ヲ太玉串ヲ案

ニ具シテ側ニ候ス方西

次禰宜進テ太玉串ヲ受ケ案上ニ奠シ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

月讀荒御魂宮

伊佐奈岐宮 祈年祭奉幣

伊佐奈彌宮

次第各月讀宮ニ同シ

同日

瀧祭神祈年祭奉幣

第一鼓 午前十一時

禰宜正權主典宮掌參集 禰宜木綿 鬘ヲ著ク

第二鼓 正午十二時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス 御門御垣等ニ兼 日賢木ヲ奉仕ス

第三鼓 午後一時

幣帛辛櫃ヲ參道ノ正中ニ舁立ツ

次禰宜主典各一員同所ノ東方ニ進列 南上 西面

次權主典一員進テ大麻ヲ揮リ幣帛ヲ清ム

次宮掌一員進テ御鹽ヲ灑ク

先是權主典被所ニ於テ修被ノ後宮掌相共

ニ大麻御鹽ヲ取り豫參道ノ東方ニ候ス 北上

西面

次幣帛辛櫃ヲ御門外東掖ニ舁居ル 葉薦ヲ 敷ク

次各版ニ著ク 禰宜北面正權主 典宮掌北上東面

次宮掌御門下ニ高案ヲ設ク 葉薦ヲ 敷ク

次宮掌辛櫃ヲ開ク權主典幣帛ヲ取出シテ案上

ニ置ク

次宮掌御門ヲ開ク 豫御幌ヲ 懸設ク

次宮掌幣案ヲ御門内東掖ニ移ス案薦ヲ敷ク

次權主典進テ御前ニ候ス宮掌葉薦幣案ヲ傳フ

權主典之ヲ設畢テ側ニ候ス

次主典案前ニ候ス

次權主典幣帛ヲ主典ニ傳フ主典之ヲ案上ニ奠

シ畢テ版ニ復ス

此際宮掌東掖ノ案薦ヲ撤ス

次禰宜御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次主典幣帛ヲ撤ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次權主典案薦ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次宮掌高案ヲ御門下ニ設ケ案薦ヲ敷ク太玉串ヲ案

ニ具シテ側ニ候ス西方

次禰宜進テ太玉串ヲ受ケ案上ニ奠シ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

十九日

朝熊神社祈年祭奉幣

第一鼓 午前十一時

權主典宮掌參集

第二鼓 正午十二時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午後一時

幣帛辛櫃ヲ護衛シテ朝熊神社ニ參着ス

次幣帛辛櫃ヲ參道ノ正中ニ昇立ツ

次各同所ノ南方ニ進列東上北面

次宮掌大麻御鹽ヲ揮灑テ幣帛ヲ清ム豫修袂ス

次幣帛辛櫃ヲ御門外東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各版ニ著ク東上北面

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御垣等ニ蕪日賢木ヲ奉仕ス

次宮掌御鑰ヲ權主典ニ傳フ

次權主典御扉ヲ開キ畢テ版ニ復ス御鑰ハ御床ニ安ス

次宮掌御床ニ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設ケ畢テ側ニ

候ス

次權主典案前ニ候ス

次宮掌幣帛ヲ權主典ニ傳フ權主典之ヲ案上ニ

奠シ畢テ版ニ復ス

次權主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次權主典幣帛ヲ殿内ニ納ム

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次權主典御扉ヲ闔テ版ニ復シ御鑰ヲ宮掌ニ授ク

次宮掌高案ヲ御門下ニ設ケ葉薦ヲ太玉串ヲ案

ニ具シテ側ニ候ス方西

次權主典進テ太玉串ヲ受ケ案上ニ奠シ版ニ復

ス

次各奉拜八度拍手兩端

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

朝熊御前神社

鏡宮神社

祈年祭奉幣

次第各朝熊神社ニ准ス

同日

興玉神祈年祭奉幣

第一鼓 午前十一時

權主典宮掌參集

第二鼓 正午十二時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午後一時

幣帛辛櫃ヲ參道ノ正中ニ昇立ツ

次各同所ノ北方ニ進列 東上 南面

次宮掌大麻御鹽ヲ揮灑テ幣帛ヲ清ム 豫修 被ス

次幣帛辛櫃ヲ御前ノ南掖ニ昇居ル 葉薦ヲ敷ク

次各版ニ著ク 南上 東面

次宮掌進テ御前ニ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設ケ畢テ

側ニ候ス

次權主典案前ニ候ス

次宮掌幣帛ヲ權主典ニ傳フ權主典之ヲ案上ニ

奠シ畢テ版ニ復ス

次權主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次權主典幣帛ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次宮掌高案ヲ御前ニ設ケ 葉薦ヲ敷ク 太玉串ヲ案ニ

具シテ側ニ候ス 北

次權主典進テ太玉串ヲ受ケ案上ニ奠シ版ニ復

ス

次各奉拜八度拍手兩端畢テ退下

同日

宮比神

祈年祭奉幣

屋乃波比伎神

次第各興玉神ニ准ス

同日

酒殿神祈年祭奉幣

第一鼓 午前十一時

權主典宮掌參集

第二鼓 正午十二時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午後一時

幣帛辛櫃ヲ參道ノ正中ニ昇立ツ

次各同所ノ北方ニ進列 東上 南面

次宮掌大麻御鹽ヲ揮灑テ幣帛ヲ清ム 豫修 拭ス

次幣帛辛櫃ヲ御前ノ東掖ニ昇居ル 葉薦ヲ 敷ク

次各版ニ著ク 東上 北面

次權主典御扉ヲ開キ畢テ版ニ復ス

次官掌御前ニ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設テ側ニ候ス

次權主典案前ニ候ス

次官掌幣帛ヲ權主典ニ傳フ權主典之ヲ案上ニ

奠シ畢テ版ニ復ス

次權主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次權主典幣帛ヲ殿内ニ納ム官掌案薦ヲ撤ス

次官掌高案ヲ御前ニ設ケ葉薦ヲ太玉串ヲ案ニ

具シテ側ニ候ス

方西

次權主典進テ太玉串ヲ受ケ案上ニ奠シ版ニ復

ス

次各奉拜八度拍手兩端畢テ退下

同日

由貴御倉神

祈年祭奉幣

御稻御倉神

次第各酒殿神ニ准ス

同日

神服織機殿神社

同末社所八

神麻績機殿神社

同末社所八

祈年祭奉幣

次第各朝熊神社ニ准ス

二十日

瀧原宮祈年祭奉幣

兼日官幣ヲ護衛シテ禰宜以下瀧原宮ニ參著ス

第一鼓 午前十一時

禰宜正權主典官掌參集 禰宜木綿
髪ヲ著ク

第二鼓 正午十二時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス 御門御垣等ニ兼
日賢木ヲ奉仕ス

第三鼓 午後一時

官幣辛櫃ヲ參道ノ正中ニ昇立ツ

次禰宜主典各一員同所ノ北方ニ進列 東上
南面

次權主典一員進テ大麻ヲ揮リ官幣ヲ清ム

次官掌一員進テ御鹽ヲ灑ク

先是權主典被所ニ於テ修被ノ後官掌相共

＝大麻御鹽ヲ取り豫參道ノ北方ニ候ス西面上

次官幣辛櫃ヲ御門外東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各祭舎ノ版ニ著ク祢宜北面正權主典宮掌北上東面

次宮掌御門下ニ高案ヲ設ク葉薦ヲ敷ク

次宮掌辛櫃ヲ開ク權主典官幣ヲ取出シテ案上

ニ置ク

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク

次宮掌幣案ヲ階下東掖ニ移ス葉薦ヲ敷ク

次權主典御鑰ヲ禰宜ニ傳フ豫御鑰櫃ヲ御門外西掖ニ安ス葉薦ヲ敷ク

次禰宜階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ畢テ

版ニ復ス御鑰ハ大床ニ安ス

此間各起立

次權主典階ヲ昇リ大床ニ候ス宮掌葉薦幣案ヲ

傳フ權主典之ヲ設畢テ階下ニ候ス

次主典案前ニ候ス

次權主典官幣ヲ捧ケ主典ニ傳フ主典之ヲ案上

ニ奠シ畢テ版ニ復ス

此際宮掌階下ノ案薦ヲ撤ス

次禰宜階下ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

神宮御門

神宮御門

次禰宜階ヲ昇リ官幣ヲ殿内ニ納ム

次禰宜御幌ヲ整理ス

次權主典案薦ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次禰宜殿内ヲ出テ御扉ヲ闔ツ

此間各起立

次禰宜版ニ復シ御鑰ヲ權主典ニ授ク

次宮掌高案ヲ御門下ニ設ケ葉薦ヲ太玉串ヲ案

ニ具シテ側ニ候ス方西

次禰宜進テ太玉串ヲ受ケ案上ニ奠シ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

瀧原竝宮祈年祭奉幣

次第瀧原宮ニ同シ

同日

若宮神社祈年祭奉幣

瀧原宮瀧原竝宮祭儀畢テ幣帛辛櫃ヲ參道ノ正

中ニ昇立ツ

次權主典宮掌各一員同所ノ北方ニ進列東面上

次宮掌大麻御鹽ヲ揮灑テ幣帛ヲ清ム豫修

次幣帛辛櫃ヲ御門外東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各版ニ著ク東上北面

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御垣等ニ蕪日賢木ヲ奉仕ス

次宮掌御鑰ヲ權主典ニ傳フ

次權主典御扉ヲ開キ畢テ版ニ復ス

次宮掌進テ御床ニ葉薦ヲ敷キ幣帛ヲ設ケ畢テ

側ニ候ス

次權主典案前ニ候ス

次宮掌幣帛ヲ權主典ニ傳フ權主典之ヲ案上ニ

奠シ畢テ版ニ復ス

次權主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次權主典幣帛ヲ殿内ニ納ム

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次權主典御扉ヲ闔テ版ニ復シ御鑰ヲ宮掌ニ授ク

次宮掌高案ヲ御門下ニ設ケ葉薦ヲ敷ク太玉串ヲ案

ニ具シテ側ニ候ス西

次權主典進テ太玉串ヲ受ケ案上ニ奠シ版ニ復

ス

次各奉拜八度拍手兩端
次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

長由介神社
川嶋神社
祈年祭奉幣

次第各若宮神社ニ准ス

同日

伊雜宮祈年祭奉幣
次第瀧原宮ニ同シ

同日

佐美長神社
同御前神社
祈年祭奉幣
次第各若宮神社ニ准ス

同日

風日祈宮祈年祭奉幣

第一鼓 午前十一時

禰宜正權主典官掌參集 禰宜木綿

第二鼓 正午十二時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス 御門御垣等ニ兼

第三鼓 午後一時

官幣辛櫃ヲ參道ノ正中ニ昇立ツ

次禰宜主典各一員同所ノ北方ニ進列 東上

次權主典一員進テ大麻ヲ揮リ官幣ヲ清ム

次官掌一員進テ御鹽ヲ灑ク

先是權主典被所ニ於テ修被ノ後官掌相共
ニ大麻御鹽ヲ取り豫參道ノ北方ニ候ス 上西

南

次官幣辛櫃ヲ御門外東掖ニ昇居ル 兼薦ヲ

次各祭舎ノ版ニ著ク 禰宜北面正權主

次官掌御門下ニ高案ヲ設ク 兼薦ヲ

次官掌辛櫃ヲ開ク權主典官幣ヲ取出シテ案上

ニ置ク

次官掌御門ヲ開ク 豫御幌ヲ

次官掌幣案ヲ階下東掖ニ移ス 兼薦ヲ

次權主典御鑰ヲ禰宜ニ傳フ豫御鑰櫃ヲ御門外

敷

次禰宜階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ畢テ

版ニ復ス御鑰ハ大床ニ安ス

此間各起立

次權主典階ヲ昇リ大床ニ候ス宮掌葉薦幣案ヲ

傳フ權主典之ヲ設畢テ版ニ復ス

次主典案前ニ候ス

次權主典官幣ヲ捧ケ主典ニ傳フ主典之ヲ案上

ニ奠シ畢テ版ニ復ス

此際宮掌階下ノ案薦ヲ撤ス

次禰宜階下ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次禰宜階ヲ昇リ官幣ヲ殿内ニ納ム

次禰宜御幌ヲ整理ス

次權主典案薦ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次禰宜殿内ヲ出テ御扉ヲ闔ツ

此間各起立

次禰宜版ニ復シ御鑰ヲ權主典ニ授ク

次宮掌高案ヲ御門下ニ設ケ葉薦ヲ太玉串ヲ案

ニ具シテ側ニ候ス方西

次禰宜進テ太玉串ヲ受ケ案上ニ奠シ版ニ復ス
 次各奉拜八度拍手兩端
 次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

攝社末社四十七所祈年祭大御饌奉幣權主典等各

社ニ参向奉奠ス但ニ
 十日ヨリ祭始ム

園相神社所ニ

鴨神社所ニ

田乃家神社

同御前神社

蚊野神社

同御前神社

湯田神社所ニ

大土御祖神社

國津御祖神社

朽羅神社

宇治山田神社

津長神社

大水神社

堅田神社

江神社

神前神社

粟皇子神社

川原神社

久具都比賣神社所三

奈良波良神社

棒原神社所二

御船神社

坂手國生神社

狹田國生神社

多岐原神社

鴨下神社

津布良神社

葭原神社

小社神社

許母利神社

新川神社

石井神社

宇治乃奴鬼神社

加努弥神社

川相神社

熊淵神社

荒前神社

那自賣神社

葦立豆神社

牟弥乃神社

御鹽殿神社

次第各朝熊神社ニ准ス

四月一日

皇大神宮并荒祭官和妙神御衣奉織始祭中祭

兼日主典等神服織機殿ニ参著ス

第一鼓 午前六時

主典宮掌参集

第二鼓 午前七時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス 御門御垣等ニ兼日賢木ヲ奉仕ス

第三鼓 午前八時

被所ニ和妙御絲ノ辛櫃神饌辛櫃ヲ昇居ル 各業薦ヲ

次各齊列 北面上

次宮掌進テ被ヲ修シ大麻御鹽ヲ揮灑テ御料ノ

絲神饌及官員ヲ清ム 御絲神饌ヲ清ルノ際主典辛櫃ヲ開ク

次宮掌機殿神社ノ御門ヲ開ク 豫設ク幌ヲ

次神饌辛櫃ヲ階下東掖ニ昇居ル 葉薦ヲ敷ク

次各御前ノ版ニ著ク 東上北面

次一拜

次御前ヲ退テ八尋殿ニ進參

次宮掌同殿ノ御門ヲ開ク 豫設ク幌ヲ

次御絲ノ辛櫃ヲ階下東掖ニ昇居ル 葉薦ヲ敷ク

朝立

葉薦ヲ

次各版ニ著ク 東上北面

次宮掌御鑰ヲ主典ニ傳フ

次主典階ヲ昇リ御扉ヲ開キ殿内ニ候ス

次宮掌階ヲ昇リ御鹽ヲ以テ殿内ノ四方ヲ灑清

ム

次宮掌賢木 木綿ヲ著ク 殿外四隅ノ柱ニ副樹ル

次主典宮掌相共ニ御絲ノ辛櫃ヲ殿内西方ニ納

ム

次各殿ヲ降テ版ニ復ス

次機殿神社御前ノ版ニ著ク 東上北面

次宮掌御鑰ヲ主典ニ傳フ

次主典階ヲ昇リ御扉ヲ開キ版ニ復ス御鑰ハ御床ニ安ス

次宮掌階ヲ昇リ御床ニ葉薦ヲ敷キ饌案ヲ設ケ

畢テ階下ニ候ス

次主典階ヲ昇リ案前ニ候ス

次宮掌神饌ヲ主典ニ傳フ主典之ヲ案上ニ陳列

シ初獻ノ神酒清醴ニ盛ヲ奠シ畢テ版ニ復ス

次主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次主典案前ニ進ミ宮掌傳進ニ獻ノ神酒ニ盛ヲ

奠シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜拍手一端

次三獻ノ神酒ヲ奠ス其儀ニ獻ノ如シ

次各奉拜拍手一端

次主典神饌ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次主典御扉ヲ闔テ版ニ復シ御鑰ヲ宮掌ニ授ク

次神饌辛櫃ヲ撤ス

次宮掌御門ヲ闔ツ

次各八尋殿ニ進參殿内ニ候ス

次宮掌高案ニ脚ヲ殿内南方ノ東西ニ設ク

次宮掌辛櫃ヲ開ク主典御絲ノ管四合ヲ取出シ

テ案上ニ置ク

東ハ皇大神宮御料
西ハ荒祭宮御料

次主典高機ニ御絲ヲ具シテ御衣ヲ奉織ス

次宮掌殿ヲ降テ版ニ復ス

次主典御扉ヲ闔チ版ニ復シ御鑰ヲ宮掌ニ授ク

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

皇大神宮并荒祭宮荒妙神御衣奉織始祭

神麻績機殿神社ニ於テ奉仕ス次第神服織機殿

神社ニ同シ

十三日

皇大神宮并荒祭宮和妙神御衣奉織鎮謝祭

中祭

無日主典等神服織機殿ニ參著ス

第一鼓 午前六時

主典宮掌參集

第二鼓 午前七時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス 御門御垣等ニ兼日賢木ヲ奉仕ス

第三鼓 午前八時

被所ニ幣帛辛櫃ヲ昇居ル 葉薦ヲ敷ク

次各齊列 北面上東面

次宮掌進テ被ヲ修シ大麻御鹽ヲ揮灑テ幣帛及

官員ヲ清ム

次幣帛辛櫃ヲ機殿神社ノ御門外東掖ニ昇居ル

葉薦ヲ敷ク

次各御前ノ版ニ著ク 東面上北面

次一拜

次御前ヲ退テ八尋殿ニ進參

次各版ニ著ク 東面上北面

次宮掌御門懸設ク 豫御幌ヲ 開キ御鑰ヲ主典ニ傳フ

次主典階ヲ昇リ御扉ヲ開キ各殿内ニ候ス

次主典高機ニ進ニ御衣ヲ奉織シ畢ル

次主典御衣ヲ辛櫃ニ納ム

次宮掌御鹽ヲ灑キ御衣ヲ清メ蓋ヲ闔ツ

次宮掌殿ヲ降テ版ニ復ス

次主典御扉ヲ闔テ版ニ復シ御鑰ヲ宮掌ニ授ク

次宮掌御門ヲ闔ツ

次機殿神社御前ノ版ニ著ク東上北面

次宮掌御門下ニ高案ヲ設ク葉薦ヲ敷ク

次宮掌辛櫃ヲ開ク主典幣帛ヲ取出シテ案上ニ

置ク

次宮掌御門豫御幌ヲ懸設クヲ開キ御鑰ヲ主典ニ傳フ

次宮掌幣案ヲ階下ニ移ス葉薦ヲ敷ク

次主典階ヲ昇リ御扉ヲ開キ版ニ復ス御鑰ハ御床ニ安ス

次宮掌階ヲ昇リ御床ニ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設ケ

畢テ階下ニ候ス

次主典階ヲ昇リ案前ニ候ス

次宮掌幣帛ヲ主典ニ傳フ主典之ヲ案上ニ奠シ

畢テ版ニ復ス

此際宮掌階下ノ案薦ヲ撤ス

次主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次主典幣帛ヲ殿内ニ納ム

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次主典御扉ヲ闔テ版ニ復シ御鑰ヲ宮掌ニ授ク

次各奉拜八度拍手兩端

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

皇大神宮并荒祭宮荒妙神御衣奉織鎮謝祭
神麻績機殿神社ニ於テ奉仕ス次第神服織機殿
神社ニ同シ

十四日

皇大神宮風日祈祭 中祭

第一鼓 午前七時

祭主以下參集 權禰宜以上木綿鬘ヲ著ク

第二鼓 午前八時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス 八重賢木鳥居及重々御門御垣等ニ兼日賢木ヲ奉仕ス

第三鼓 午前九時

正權主典宮掌等忌火屋殿前庭被所ニ御幣御笠
御蓑等ノ辛櫃 正宮及相殿神荒祭宮風日祈宮神攝社末社四十七所興玉

神宮比神屋乃波比使神酒殿神由貴御倉神御
稻御倉神祓所神祿八百萬神服織機殿神社同
未社八所神祿八百萬神服織機殿神社同
社同末社八所神祿八百萬神服織機殿神社同

次祭主大少官司正權禰宜進參

次諸員齊列祭主大少官司正權禰宜進參

曲折典以下辛櫃正權主典其末列所役ノ

次主典一員進テ袂ヲ修シ大麻ヲ揮テ御幣等及

諸員ヲ清ム權主典一員相副テ御鹽ヲ灑ク次

第大麻ノ如シ豫被所正中但御幣等ヲ清ムル

ノ際主典等懸豫設ク

次權主典重々御門ヲ開ク懸豫設ク

次祭主大少官司進テ中重ノ版ニ著ク東上北面

次列行

先禰宜一員前行警蹕瑞垣御門ニ到

次御幣等ノ辛櫃主典四員副從

次正權禰宜以下從行

次御幣等ノ辛櫃ヲ階下東西ノ幄舎ニ昇入ル薦葉

クヲ敷

次前行ノ禰宜ハ退テ中重ノ版ニ著キ副從ノ主

典ハ階下ニ分候ス

次從行ノ正權禰宜中重ノ版ニ著ク東上北面

次宮掌二員階下ニ高案三脚ヲ設ク各兼薦ヲ敷

分候ス東西ニ
次主典三員御幣御笠御蓑ヲ次第ニ捧テ案上ニ置キ畢テ東西ニ分候ス

次權禰宜二員階ノ第一級ニ候ス主典兼薦幣案ヲ傳フ權禰宜大床ニ設畢テ階下ニ分候ス

次禰宜二員階ヲ昇リ案前ニ候ス
次主典御幣等ヲ權禰宜ニ傳フ權禰宜階ヲ昇リ

禰宜ニ傳フ禰宜之ヲ案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

此際宮掌階下ノ案薦ヲ撤ス

次大官司祭主ノ前ニ到リ祝詞文ヲ請ケ祭舎ノ版ニ著キ奏シ畢テ中重ノ版ニ復ス

次諸員奉拜八度拍手兩端

次禰宜御幣等ヲ撤ス權禰宜主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次權禰宜案薦ヲ撤ス主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ
次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス主典副從

次權主典重々御門ヲ闔フ諸員退下

同日

荒祭宮風日祈祭

忌火屋殿前庭修被畢テ列行

先主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃宮掌ニ員副從

次權主典一員從行

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御垣等ニ兼日賢木ヲ奉仕ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ階下東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各御前ニ候ス

正宮祭儀畢テ祭主大少宮司正權禰宜各一員進參

次各祭舍ノ版ニ著ク祭主以下東上北面

次宮掌階下ニ高案ヲ設ク葉薦ヲ敷ク

次權主典御幣御笠御蓑ヲ次第ニ捧テ案上ニ置

ク

次主典階ヲ昇リ大床ニ候ス權主典葉薦幣案ヲ

傳フ主典之ヲ設畢テ階下ニ候ス

次權禰宜階ヲ昇リ案前ニ候ス

次主典御幣等ヲ權禰宜ニ傳フ權禰宜之ヲ案上

ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次少宮司階下ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次權禰宜御幣等ヲ撒ス主典之ヲ傳フ初儀ノ如

シ

次主典案薦ヲ撒ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次御幣等ノ辛櫃ヲ撒ス

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

月讀宮風日祈祭

第一鼓 午前十時

正權主典宮掌參集

第二鼓 午前八時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午前十時

御幣御笠御蓑等ノ辛櫃ヲ護衛シテ月讀宮ニ參著ス

次被所ニ御幣等ノ辛櫃 月讀宮月讀荒御魂官伊佐奈岐官伊佐奈彌官等

御ヲ陳列ス 各葉薦

次各齊列 主典南面權主典官掌東上北面

次權主典一員進テ被ヲ修シ大麻ヲ揮テ御幣等

及官員ヲ清ム宮掌一員相副テ御鹽ヲ灑ク次
第大麻ノ如シ豫被所正中ニ大麻ヲ樹テ修被
際主典辛櫃ヲ開ク

次列行

先主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃宮掌ニ員副從

次權主典一員從行

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御
垣等ニ蕪日賢木ヲ奉仕ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ階下東掖ニ昇居ル兼薦ヲ
敷ク

次各祭舍ノ版ニ著ク主典北面權主典
宮掌北面東面

次宮掌階下ニ高案ヲ設ク兼薦ヲ
敷ク

次權主典御幣御笠御蓑ヲ次第ニ捧テ案上ニ置

ク

次權主典階ヲ昇リ大床ニ候ス宮掌兼薦幣案ヲ
傳フ權主典之ヲ設畢テ階下ニ候ス

次主典階ヲ昇リ案前ニ候ス

次權主典御幣等ヲ主典ニ傳フ主典之ヲ案上ニ
奠シ畢テ版ニ復ス

次主典階下ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次主典御幣等ヲ撤ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次權主典案薦ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

月讀荒御魂宮

伊佐奈岐宮 風日祈祭

伊佐奈彌宮

次第各月讀宮ニ同シ

同日

瀧原宮風日祈祭

兼日主典以下瀧原宮ニ參著ス

第一鼓 午前七時

正權主典宮掌參集

第二鼓 午前八時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス 御門御垣等ニ兼
賢木ヲ奉仕ス

第三鼓 午前十時

被所ニ御幣御笠御蓑等ノ辛櫃瀧原官瀧原並宮及若宮神社長由

介神社川嶋神ヲ陳列スヲ各葉薦

次各齊列主典西面權主典

次權主典一員進テ被ヲ修シ大麻ヲ揮テ御幣等

及官員ヲ清ム宮掌一員相副テ御鹽ヲ灑ク次

第大麻ノ如シ豫被所正中ニ大麻ヲ樹テ修被

際主典辛櫃ヲ關ク

次列行

先主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃宮掌ニ員副從

次權主典一員從行

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク

次御幣等ノ辛櫃ヲ階下東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各祭舎ノ版ニ著ク主典北面權主典

次宮掌階下ニ高案ヲ設ク葉薦ヲ敷ク

次權主典御幣御笠御蓑ヲ次第ニ捧テ案上ニ置

ク

次權主典階ヲ昇リ大床ニ候ス宮掌葉薦幣葉ヲ

傳フ權主典之ヲ設畢テ階下ニ候ス

次主典階ヲ昇リ案前ニ候ス

次權主典御幣等ヲ主典ニ傳フ主典之ヲ案上ニ
奠シ畢テ版ニ復ス

次主典階下ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次主典御幣等ヲ撤ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次權主典案薦ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

瀧原竝宮風日祈祭
次第瀧原宮ニ同シ

同日

若宮神社風日祈祭

瀧原宮瀧原竝宮祭儀畢テ進行

先權主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃宮掌一員副從

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御垣

次御幣等ノ辛櫃ヲ御門内東掖ニ昇居ル兼奉仕ス兼薦ヲ

次各版ニ著ク東上北面

次宮掌進テ御床ニ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設ケ畢テ

側ニ候ス

次權主典案前ニ候ス

次宮掌御幣等ヲ次第ニ權主典ニ傳フ權主典之

ヲ案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次權主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次權主典御幣等ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如

シ

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

長由介神社

川嶋神社

風日祈祭

次第各若宮神社ニ准ス

同日

伊雜宮風日祈祭

次第瀧原宮ニ同シ

同日

佐美長神社

風日祈祭

同御前神社

所四

次第各若宮神社ニ准ス

同日

風日祈宮風日祈祭

忌火屋殿前庭修祓ノ後正宮祭儀畢ルヲ待テ列
行

先主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃宮掌ニ
員副從

次權主典一員從行

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御
垣等ニ兼日賢ホヲ奉仕ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ階下東掖ニ昇居ル葉薦ヲ

次各祭舎ノ版ニ著ク主典北面權主典
宮掌北面東面

次宮掌階下ニ高案ヲ設ク葉薦ヲ

次權主典御幣御笠御蓑ヲ次第ニ捧テ案上ニ置

次權主典階ヲ昇リ大床ニ候ス官掌葉薦幣案ヲ
 傳フ權主典之ヲ設ケ畢テ階下ニ候ス
 次主典階ヲ昇リ案前ニ候ス
 次權主典御幣等ヲ次第ニ主典ニ傳フ主典之ヲ
 案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス
 次主典階下ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス
 次各奉拜八度拍手兩端
 次主典御幣等ヲ撤ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如
 シ

次權主典案薦ヲ撤ス官掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ
 次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス
 次官掌御門ヲ闔リ各退下

同日

龍祭神風日祈祭
 忌火屋殿前庭修祓ノ後正宮祭儀畢ルヲ待テ列
 行

先主典一員前行警蹕
 次御幣等ノ辛櫃官掌ニ
員副從

次權主典一員從行

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御垣等ニ兼日賢木ヲ奉仕ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ御門内東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各版ニ著ク主典北面權主典宮掌北上東面

次權主典進テ御前ニ候ス宮掌葉薦幣案ヲ傳フ

權主典之ヲ設畢テ側ニ候ス

次主典案前ニ候ス

次權主典御幣等ヲ次第ニ主典ニ傳フ主典之ヲ

案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次主典御幣等ヲ撤ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如

シ

次權主典案薦ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

朝熊神社風日祈祭

第一鼓 午前七時

權主典宮掌叅集

第二鼓 午前八時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午前十時

御幣御笠御蓑ノ辛櫃ヲ護衛シテ朝熊神社ニ參著ス

次被所ニ御幣等ノ辛櫃ヲ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各齊列東上北面

次宮掌進テ被ヲ修シ大麻御鹽ヲ揮灑テ御幣等及官員ヲ清ム豫被所正中ニ大麻ヲ樹テ修被ノ具ヲ設ク但御幣等ヲ清ルノ

際權主典辛櫃ヲ開ク

次進行

先權主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃官掌一員副從

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク又御門御垣等ニ蕪日賢木ヲ奉仕ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ御門内東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各版ニ著ク東上北面

次宮掌進テ御床ニ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設ケ畢テ

側ニ候ス

次權主典案前ニ候ス

次宮掌御幣等ヲ次第ニ權主典ニ傳フ權主典之
 ヲ案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス
 次權主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス
 次各奉拜八度拍手兩端
 次權主典御幣等ヲ撒ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如シ
 次宮掌案薦ヲ撒シ畢テ版ニ復ス
 次御幣等ノ辛櫃ヲ撒ス
 次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

同日

朝熊御前神社 風日祈祭
 鏡宮神社
 次第各朝熊神社ニ准ス

同日

攝社末社四十七所風日祈祭但社名ハ祈年祭各社恭向ノ條ニ掲載ス
 忌火屋殿前庭修葺ノ後正宮祭儀畢ルヲ待テ進
 行
 先權主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃宮掌一員副從

次御幣等ノ辛櫃ヲ五丈殿ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各版ニ著ク東上北面

次宮掌進テ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設畢テ側ニ候ス

次權主典案前ニ候ス

次宮掌御幣等ヲ次第ニ權主典ニ傳フ權主典之

ヲ案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次權主典案前ニ進テ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜八度拍手兩端

次權主典御幣等ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如

シ

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス各退下

同日

興玉神風日祈祭

忌火屋殿前庭修祓ノ後正宮祭儀畢ルヲ待テ進
行

先權主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃宮掌一員副從

次御幣等ノ辛櫃ヲ御前南掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各版ニ著ク南上東面

次宮掌進テ御前ニ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設ケ畢テ

側ニ候ス

次權主典案前ニ候ス

次宮掌御幣等ヲ次第ニ權主典ニ傳フ權主典之

ヲ案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次權主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜ハ度拍手兩端

次權主典御幣等ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如

シ

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス各退下

同日

宮比神

屋乃波比伎神 風日祈祭

次第各興玉神ニ准ス

同日

酒殿神風日祈祭

忌火屋殿前庭修祓ノ後正宮祭儀畢ルヲ待テ進
行

先權主典一員前行警蹕

次御幣等ノ辛櫃宮掌一員副從

次御幣等ノ辛櫃ヲ御前東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次各版ニ著ク東上北面

次宮掌進テ御前ニ葉薦ヲ敷キ幣案ヲ設ケ畢テ

側ニ候ス

次權主典案前ニ候ス

次宮掌御幣等ヲ次第ニ權主典ニ傳フ權主典之

ヲ案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次權主典御前ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次各奉拜八度袖手兩端

次權主典御幣等ヲ撤ス宮掌之ヲ傳フ初儀ノ如

シ

次宮掌案薦ヲ撤シ畢テ版ニ復ス

次御幣等ノ辛櫃ヲ撤ス各退下

同日

由貴御倉神

風日祈祭

御指御倉神

次第各酒殿神二准又

同日

被所神

風日祈祭

八百萬神

次第各與玉神二准又

同日

神服織機殿神社

同末社所八

風日祈祭

神麻績機殿神社

同末社所八

次第各若宮神社二准又

神宮明治祭式卷之二

神宮三庫

十四日

皇大神宮并荒祭宮和妙荒妙ノ神御衣護送
兼日正權主典宮掌各一員神服織機殿ニ参著ス

午前五時

先機殿神社ニ進参一拜畢テ八尋殿御前ノ版ニ

著ク東上
北面

次宮掌御門ヲ開キ御鑰ヲ主典ニ傳フ

次主典階ヲ昇リ御扉ヲ開キ殿内ニ候ス

次權主典宮掌参昇和妙神御衣ノ辛櫃ニ合ハ一合

大神宮御料一合ヲ取出シ階下ニ安ス業薦ヲ
ハ荒祭宮御料

神宮明治祭式卷之二

〇五五

神宮三庫

次主典御扉ヲ闔テ畢テ版ニ復シ御鑰ヲ宮掌ニ授ク

次神御衣ノ辛櫃ヲ被所ニ阜居ル葉薦ヲ敷ク

次各齊列北面上東面

次權主典進テ被ヲ修シ大麻御鹽ヲ揮灑テ神御

衣及官員ヲ清ム神御衣ヲ清ルノ際主典辛櫃ヲ開ク

次修被畢テ神麻績機殿ニ進參荒妙ノ神御衣ヲ

取出ス奉仕ノ次第神服織機殿ノ如シ

次主典前行權主典宮掌從行神御衣ノ辛櫃ヲ皇

大神宮ニ護送ス

同日

皇大神宮神御衣祭 大祭

第一鼓 午前九時

祭主以下參集權祢豆以上木綿鬘ヲ著ク

第二鼓 午前十時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午前十一時

正權主典宮掌等第一鳥居内被所ニ神御衣ノ辛

櫃正宮及荒祭ヲ陳列ス各葉薦ヲ敷ク

次祭主大少宮司正權禰宜進參

次諸員齊列祭主大少宮司正權禰宜西上北面正權主典宮掌西上南面大麻御鹽所役

其末ニ列ス

次主典一員進テ被ヲ修シ大麻ヲ揮テ神御衣及

諸員ヲ清ム權主典一員相副テ御鹽ヲ灑ク次

茅大麻ノ如シ豫被所正中ニ大麻ヲ樹テ修被際主典等辛

櫃ヲ開ク

次神御衣ノ辛櫃ヲ四大殿南ノ戸ヨニ昇居ル薦

ヲ敷主典四員相副テ進列ス北西上

先是宮掌同殿ニ高案二脚ヲ設ク各葉薦

次祭主以下同殿西ノ戸ヨニ進列ス北東上

次宮掌辛櫃ヲ開ク主典進テ神御衣ヲ取出シ案

上ニ置ク東ハ和炊西ハ荒炊畢テ列ニ復ス使部辛櫃ニ

撒シ宮掌葉薦ヲ撒ス

次權主典重々御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク

次主典四員神御衣ノ案ヲ捧ケ北ノ戸ヲ出ル

ス重々御門ヲ經テ階下ニ安シ葉薦ヲ東西ニ敷ク

分候ス

次祭主以下西ノ戸ヲ出ル中重ノ版ニ著ク東上北面

次樂員内玉垣御門下東掖ノ版ニ著ク北西上北面

次權主典御鑰ヲ大官司ニ進ム

豫御鑰櫃ヲ内玉垣御門下西掖ニ

安ス葉薦ヲ敷ク

次大少官司階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ

畢テ版ニ復ス御鑰ハ大床ニ安ス

此間奏樂諸員起立

次祭主階ヲ昇リ殿内ニ袒候畢テ版ニ復ス

次權禰宜二員階ノ第一級ニ候ス主典葉薦神御

衣ノ案ヲ傳フ權禰宜大床ニ設畢テ階下ニ分

候ス

次禰宜二員階ヲ昇リ案前ニ候ス

次主典四員神御衣ヲ次第ニ捧ケ權禰宜ニ傳フ

權禰宜階ヲ昇リ禰宜ニ傳フ禰宜之ヲ案上ニ

奠ス此際官掌階下ノ案薦ヲ撤ス但豫參入東西ニ分候ス

次正權禰宜階ヲ降テ版ニ復シ主典ハ階下ニ分

候ス

次祭主以下進テ祭舎ニ列ス西ノ方北上東面

次大官司祭主ノ前ニ到リ祝詞文ヲ請ケ版ニ進

ミ奏シ畢テ列ニ復ス

次祭主大少官司次第ニ階ヲ昇リ殿内ニ候ス

次禰宜階ヲ昇リ神御衣ヲ捧ケ殿内ニ入テ少官

司ニ進ム大官司之ヲ納ム

次大少官司御幌ヲ整理ス

次權禰宜案薦ヲ撤ス主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次祭主禰宜殿ヲ降テ版ニ復ス主典以下從テ版ニ著ク

次大少官司殿ヲ出テ御扉ヲ闔ツ

此間奏樂諸員起立

次大少官司版ニ復シ大官司御鑰ヲ權主典ニ授

ク

次宮掌内玉垣御門下ニ高案ニ脚ヲ設ク一脚ハ勅奏任

ノ料一脚ハ判任ノ料各案薦ヲ敷ク

先是宮掌太玉串ヲ高案ニ具シ案薦ヲ八重

賢木鳥居内ニ候ス西方東方

次祭主大少官司正權禰宜次第ニ進テ太玉串ヲ

宮掌ニ受ケ御門下ノ案上ニ奠シ畢テ版ニ復

ス

次諸員奉拜八度拍手兩端

次權主典重々御門ヲ闔ツ諸員退下

同日

荒祭宮神御衣祭

第一鳥居内修被畢ノ後正權主典各一員宮掌二員神御衣ノ辛櫃ヲ護送ス

次神御衣ノ辛櫃ヲ御門外東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次宮掌御門下ニ高案ニ脚ヲ設ク葉薦ヲ敷ク

次宮掌辛櫃ヲ開ク權主典神御衣ヲ取出シ案上ニ置ク

東ハ和妙西ハ荒妙

次宮掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク

次各御前ニ候ス

正宮祭儀畢テ祭主大少官司正權禰宜各一員進參

次各祭舎ノ版ニ著ク祭主以下東上北面主典以下北上東面

次權主典宮掌神御衣ノ案ヲ階下東西ニ移ス各葉薦クヲ

葉薦クヲ

次權主典御鑰ヲ禰宜ニ傳フ豫御鑰櫃ヲ御門外西掖ニ安ス葉薦ヲ

敷ク

次正權禰宜階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ

畢テ版ニ復ス御鑰ハ大床ニ安ス

此間各起立

次主典階ヲ昇リ大床ニ候ス權主典葉薦神御衣

ノ案ヲ傳フ主典之ヲ設畢テ階下ニ候ス

次權禰宜階ヲ昇リ案前ニ候ス

次主典神御衣ヲ捧ケ權禰宜ニ傳フ權禰宜之ヲ

案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス此際宮掌階下ノ案薦ヲ撤ス

次少官司階下ニ進ミ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

次禰宜階ヲ昇リ殿内ニ候ス

次權禰宜階ヲ昇リ神御衣ヲ捧ケ殿内ニ入テ禰

宜ニ傳フ禰宜之ヲ納ム

次正權禰宜御幌ノ整理ス

次主典案薦ヲ撤ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次正權禰宜殿内ヲ出テ御扉ヲ闔ツ

此間各起立

次正權禰宜版ニ復シ禰宜御鑰ヲ權主典ニ授ク

次宮掌御門下ニ高案ニ脚ヲ設ク一脚ハ勅奏仕任ノ料各業薦ヲ敷ク

任ノ料各業薦ヲ敷ク

次宮掌太玉串ヲ高案ニ具シ案薦ヲ側ニ候ス方西

次祭主大少官司正權禰宜次第ニ進テ太玉串ヲ

宮掌ニ受ケ御門下ノ案上ニ奠ス其儀正宮ノ

如シ

次各奉拜八度拍手兩端

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

神官明治祭式卷之二

神官書庫

神官明治祭式卷之二
終

